

令和2年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の 目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践とそ ののための授業改善を行う。 ・児童・生徒一人ひとりの ニーズにあわせた教育を行 う。 ・カリキュラムマネジメン トの視点を踏まえ、教育課 程の編成に取組む。 	<p>①主体的・対話 的で深い学びを 実現する授業実 践と授業改善を 行う。</p>	<p>a) 新学習指導要領に基 づいて教育課程を見直 す。</p> <p>b) 臨時休業等に対応し た指導計画の変更や精 選を行うとともにICT 機器等を活用した家 庭学習の適切な設定や 内容の充実を図る。</p> <p>c) 授業改善担当教員を 指名し、優れた指導の ノウハウを伝達する機 会を設定する。</p>	<p>a) 教育課程を見直したか。</p> <p>b) 国や県から示された方針や手順等に則 り本校や児童生徒の実情に合わせた取組 みができただか。</p> <p>c) 担当教員を指名し指導ノウハウを伝達 する機会を設けたか。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな児童・生徒 指導・支援の充実を図る。 ・教育活動全体で人権の視 点に立った学校づくりに取 組む。 	<p>①通学支援の充 実を図る</p> <p>②児童生徒の適 切な呼称の導入 を図る。</p>	<p>①B高専用SBの増車 と通学支援員の配置を 行う。</p> <p>②児童生徒の「さん付 け呼称」の組織的導入 を図る。</p>	<p>①SB増車と通学支援員の配置を行い円 滑に運用できたか。</p> <p>②児童生徒の「さん付け呼称」が組織的 に実践されたか。</p>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のニーズや適性に 応じた、自己選択・自己決定 のための継続した指導・支 援に取組む。 ・児童・生徒の自立と社会 参加に向けた主体的な取組 を支援する。 	<p>①自立と社会参 加に繋がる力を 育む</p> <p>②卒業後の職場 定着支援の充実 を図る。</p>	<p>①自己選択・自己決定 する力を高める学習支 援を継続的に組織的に 行う。</p> <p>②定着支援における課 題を整理し関係機関と の共有を図るとともに 改善策を検討する。</p>	<p>①自己選択・自己決定を意図した学習支 援が組織的に継続して行われたか。</p> <p>②課題を整理したか。関係機関との共有 を図り改善策を検討したか。</p>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の双方で連 携・協働するための組織 的・継続的な仕組みを構築 する。 ・地域における特別支援教 育のセンター的機能とし ての取組を推進し、共生社会 の実現に向け取組む。 	<p>①コミュニテイ スクールを導入 し地域協働を推 進する。</p> <p>②地域における 本校のセンター 的機能活用の推 進を図る。</p>	<p>①学校運営協議会を設 置し学校運営にその機 能を生かす。</p> <p>②本校の取組について 地域への周知を徹底し 連携した活動や行事等 の充実を図る。</p>	<p>①学校運営協議会を設置し地域協働に向 け機能を生かしたか。</p> <p>②本校の取組について周知が徹底され たか。本校の機能を通して連携の充 実が図れたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と一体となった安全 で安心な学校づくりに取組 む。 ・教員が子どもたちと向き 合う時間を確保するた めに、教員の働き方改革を推 進する。 	<p>①地域と連携し た防災対策の推 進を図る。</p> <p>②長時間勤務を 是正する。</p>	<p>①市町主催の防災会議 に参加し近隣住民の本 校への避難を想定した 訓練を自治会と連携し て行う。</p> <p>②第2第4水曜日をノ ー残業デー重点取組日 とし18：30退勤の 定着を図る。</p>	<p>①市町主催の会議に参加したか。自治会 と連携した訓練を実施したか。</p> <p>②第2第4水曜日の18：30以降の在 校職員数。</p>